

カーボン・クレジット取引に関する金融インフラのあり方等に係る検討会 報告書（概要）

- **カーボン・クレジット**は、脱炭素の取組へのインセンティブの付与等、**2050年カーボンニュートラル実現において重要な役割を担う**ことが期待されている。2026年度からの排出量取引制度の本格稼働を契機として、より一層の**取引の拡大・多様化**が見込まれる。こうした状況の下、他の金融資産同様、**カーボン・クレジット取引の健全な発展のためには、その透明性・健全性（Financial Integrity）の向上による投資家保護の確保**が重要。
- こうした観点から、2024年6月より本検討会を開催。金融界を中心とする関係者へのヒアリングを通じて把握されたカーボン・クレジットの取引実態等を踏まえ、**取引の透明性・健全性の向上において重要と考えられる論点を整理し、2025年6月に報告書として公表**。

I. 足許の取引に係るストックテイクの成果

取引プラットフォーム、売買に係る仲介、組成支援、金融関連商品の組成、リスク管理、信頼性評価、テック活用等の実態・事例

II. 論点整理の骨子

1. 取引の透明性・健全性を確保する上での基本的事項

- ✓ 適切な情報開示、利益相反の防止、関係法令の遵守
- ✓ 取引参加者の知識・経験等の適格性
- ✓ 円滑且つ健全な市場形成に向けた実務の創意工夫・関係者間の連携
- ✓ 法的性質・会計上の位置付け

2. 取引仲介者・クレジット売主に関する事項

- ✓ 顧客属性等に応じた適切な商品説明・販売
- ✓ 顧客本位の業務運営の確保
- ✓ 取引仲介者におけるリスク管理

3. 取引所・取引インフラに関する事項

- ✓ 登録簿の正確性の確保、公正な市場アクセス・取引の確保
- ✓ 取引所・決済インフラのリスク管理
- ✓ 取引の標準化（データ・契約書・商品設計等）
- ✓ デリバティブ取引に係る留意事項
- ✓ クレジット評価機関の透明性・公平性

4. クレジット買主に関する事項

- ✓ クレジット評価や保険サービスの活用のあり方
- ✓ カーボン・オフセットに係る情報開示のあり方（クレジットの性質等）
- ✓ 利用者の気候戦略におけるクレジットの位置付け

II. 論点整理の概要

1. 取引の透明性・健全性を確保する上での基本的事項

① 適切な情報開示、利益相反の防止、関係法令の遵守

- ・市場関係者（基準設定・登録簿管理者、取引プラットフォーム、売主、買主）が各々の立場においてカーボン・クレジット取引に関連する情報の適切な開示を行うことは、取引の透明性・健全性を確保する上で極めて重要
- ・利益相反の防止は、市場の健全性を担保する上で極めて重要
- ・関係法令の遵守も、取引の透明性・健全性を確保するための大前提

② 取引参加者の知識・経験等の適格性

- ・エコシステムを構成する各関係者における、カーボン・クレジットの制度上の位置付け・商品性・取引実務等について知識・経験等（リテラシー）を涵養するためのキャパシティ・ビルディングが重要

③ 円滑且つ健全な市場形成に向けた実務の創意工夫・関係者間の連携

- ・関係者において、好事例・ベストプラクティスを参照して、市場の発展に繋げていくことが期待される
- ・関係者間の連携、地域内外での連携、国際的な連携も重要

④ 法的性質・会計上の位置付け

- ・カーボン・クレジットの法的性質・会計上の性質について整理が行われることが、取引時の取扱い（譲渡の有効要件・対抗要件等を含む）についての予見可能性・安定性を高め、取引の拡大及び高度化（担保化・デリバティブを含む）を進める上でも重要

2. 取引仲介者・クレジット売主に関する事項

① 顧客属性等に応じた適切な商品説明・販売

- ・カーボン・クレジットの取引仲介者・売主は、その販売にあたり、顧客属性等に応じて、商品性について適切な説明を行うことが重要
- ・カーボン・クレジットそのものだけでなく、これを組み込んだ関連商品・トークン・サービス等を提供する場合においても、組み込みの態様や組み込まれたクレジットの商品性について、適切な説明を行うことが重要
- ・提供先が個人である場合には、提供者は、目的・知識・経験が多様且つ顧客保護・投資家保護の必要性が典型的に高いと考えられることを踏まえ、十分に丁寧な説明を行うことが取り分け重要

② 顧客本位の業務運営の確保

- ・仲介者・売主が金融事業者である場合には、「顧客本位の業務運営に関する原則」の趣旨も踏まえて、買主に対する情報提供等を行うことが重要（売主の業種如何によって顧客保護の程度が異なることは望ましくないことから、非金融事業者においても、同様の観点で情報提供等を行うことが重要）

③ 取引仲介者におけるリスク管理

- ・取引仲介者において、取引注文の執行・受け渡しに係るオペレーショナルリスク・技術リスク等について適切な管理が期待される

II. 論点整理の概要

3.取引所・取引インフラに関する事項

① 登録簿の正確性の確保、公正な市場アクセス・取引の確保

- クレジットの登録簿の正確性、及びスムーズな移転登録手続を担保することが、取引の円滑化の観点から重要
- 取引プラットフォームへの参加者資格についても、取引機会を広く公正に与えることが、市場の流動性を確保して価格の透明性と市場の効率性を高める観点から有益
- 公正な取引の確保の観点からは、運営者による(i)適切なルール設定、(ii)モニタリング、(iii)エンフォースメントが重要

② 取引所・決済インフラのリスク管理

- 取引インフラにおける頑健なリスク管理（オペレーショナルリスク、カウンターパーティリスクをはじめとする未決済リスク）は、市場の機能発揮を促し、健全性及び安定性を高めるものであり重要

③ 取引の標準化（データ・契約書・商品設計等）

- 取引の標準化は、市場の分断（fragmentation）を克服し、市場を拡大・スケールさせる上で有益

④ デリバティブ取引に係る留意事項

- 我が国において将来的にデリバティブ取引が行われるようになる場合に備え、信頼性確保・リスク管理の高度化・取引の標準化・法的な整理等を進めるといった環境整備に向けた研究を進めることが重要

⑤ クレジット評価機関の透明性・公平性

- 利益相反防止措置その他のESG評価機関に係るベストプラクティスをクレジット評価機関においても履践していくことが、透明性・公平性を高める上で有益

4.クレジット買主に関する事項

① クレジット評価や保険サービスの活用のあり方

- リスク管理においてクレジット評価や保険サービスが広く活用されることは、買主のリスク管理の高度化や評価機関・保険会社におけるスケールメリットを通じたサービスの高度化にも繋がり得る

② カーボン・オフセットに係る情報開示のあり方（クレジットの性質等）

- 買主がオフセットを行う場合、開示基準・指針・ガイドライン等を踏まえ、オフセットに利用したクレジットについて適切な情報開示を行うことが期待される

③ 利用者の気候戦略におけるクレジットの位置付け

- カーボン・クレジットの利用者は、自らのバリューチェーン内の排出削減努力を優先し、クレジットによるオフセットは補完的な手段として検討することが重要